

第4回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事録

日 時	平成27年12月21日(月) 午後3時から午後4時30分
場 所	柏原市役所別館3階 フローラルセンター会議室
出 席 者	○松井委員長 ○奥田副委員長 ○巳波委員 ○大村委員 ○岡村委員 ○山田委員 ○谷委員 ○重森委員 ○大堀委員 ○石村委員 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツ
欠 席 者	なし
事 務 局	○瀬田企画調整課参事 ○山本企画調整課長補佐 ○石橋企画調整課長 ○柏原市商工会
会 議 次 第	1 開会 2 議事 「柏原市人口ビジョン」及び「柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にかかる最終案の確認について 3 その他 4 閉会
会 議 資 料	○第4回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 次第 ○資料1：柏原市人口ビジョン（案） ○資料2：柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（案）

議 事

【開会】

(事務局)

開会挨拶

1. 柏原市人口ビジョン（案）について

- (事務局) 柏原市人口ビジョン（案）（資料1）についての説明
p. 24 の図 3-30 柏原市の特化係数と労働生産性（製造業）のデータが改定されたため修正している。その他は前回からの変更はない。
- (委員長) 確認であるが、国が出している社人研の推計結果を踏まえ、パターン3-3の施策を行い、2060年の人口の将来展望をすることで良いか。
- (事務局) その通りである。
- (委員長) パターン3-3を実現するための、就労、子育て戦略を策定した流れになる。意見がなければ総合戦略の説明に移らせていただく。

2. 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

- (事務局) 柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（案）（資料2）基本目標1についての説明
- (委員長) 基本目標ごとにご意見を伺う。質問はあるか。1点確認がある。子育ての満足度の割合は、アンケート調査からとるのか。
- (事務局) 市民意識アンケート調査からの結果を流用する考えである。条件が異なるが、市民意識調査を用いたい。
- (A委員) 大学との連携で事業数が5増えているが、具体的な内容が決まっているのか。これらを積み上げれば、数値目標が上がるとの考えでいいのか。
- (事務局) その通りである。
- (B委員) それぞれの目標値は、一定の基準で設定していると思うが、p. 15の低年齢児保育枠20人というのは少ないと感じるが、これはどのように設定されているのか。
- (事務局) 担当課と協議し、事業実施内容を含めて設定している。計画に基づいた数値である。
- (B委員) キャパとして、十分ニーズを満たす内容になっているのか。
- (C委員) 昨年度が13人、今年度が6人だったので、20人はハードルの高い数値である。もう一つ保育所を作るまでには至らない。
- (B委員) 実績は十分とのことであるのか。
- (C委員) そうである。需要と供給を含めて設定している。
- (D委員) KPIについて、子育て応援イベント参加者数は目標値が低いのではないか。
- (C委員) 会場から設定している。これ以上増やすと危険であり、施設が問題となる。
- (D委員) 話をお伺いすると理解できるが、目標値としては数値が低いと感じる。

- (E委員) 施設開放・交流広場利用者数の8千人は、どこから数値がきているのか。
- (C委員) よりたくさんの人に来ていただきたいという希望的観測の数値である。施設開放の回数を増やしていきたいとの考えである。
- (E委員) 延べ人数のことか。
- (C委員) 延べである。事業によっては、1年間を通じて来ていただいている。
- (委員長) 子育て応援イベントを足し込んでもいいのではないか。
- (C委員) 就学前児童を対象にしているが、教育委員会は小学生を対象とした事業を行っているので、合算していきたい。一点気になる点があるのだが、保育料の3割軽減の維持を事業内容にあげると約束になる。書ききってしまうのもいかなものかと感じる。
- (委員長) 「軽減」という表現に変えてはどうか。
- (C委員) 軽減は続けていくつもりである。軽減にしてもらいたい。
- (委員長) 他に意見はあるか。いくつかご意見をお伺いしたが、良いか。次に、基本目標2について、説明をお願いします。
- (事務局) 柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案) (資料2) 基本目標2についての説明
- (委員長) 何か意見はあるか。
- (D委員) 目標値の付け方が、基本目標1と異なる。これでいいのか。統一を図らなくていいのか。
- (事務局) ご指摘の件については、先行型事業として実施しているものであり、国に事前に出している。先行型は、そのまま計上している所以異なっている。維持については、基準値から下がらないように数値を入れることになるが、維持という表現にした。ご意見を伺いたい。
- (D委員) 目標値ごとに表現方法が変わるのはおかしい。p.19の5%増であれば、5%増加した値で記載した方がよいのではないか。
- (事務局) その通り修正する。
- (A委員) 大学の立場から大学との連携については、52から57の数値の説明がしにくい。子育てだけでなく仕事のことも含まれているので、基本目標1にかためていいのではないか。
- (委員長) 一つ一つで設定する方がよいのではないか。
- (事務局) ご指摘通りに修正させていただく。
- (委員長) その他、意見はあるか。目標は、若者の雇用者数を増やすとのことでハードルが高い目標値である。
- (C委員) 就職フェア参加者数が8人増加するだけで目標である若者の

- 市内雇用者数の割合 33.1%が達成できるのか。
- (事務局) 雇用率を計算する上では、人口、雇用者数を踏まえ、各種事業の数値を積み上げて設定している。
- (B委員) パーセントではなく具体的に数字で示すと何人増えることになるのか。
- (事務局) 基準値から 225 人増えることになる。就業率が多少上がることを見込んで、33.1%と設定している。
- (委員長) 先に進めさせていただく。基本目標 3 の説明をお願いします。
- (事務局) 柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案) (資料2) 基本目標 3 についての説明
- (委員長) ご意見はあるか。基本目標 3 は市外から人を呼び込む施策となる。
- (B委員) 基準値は H26 の実績値ということか。人口ビジョン p.8 と比べると、数値がかなり下がることになっているが間違いないか。また、増加率について、数字で示すことができないのか。
- (事務局) 間違いはない。増加率については、シミュレーションで施策の効果を見込んだ中で設定している。
- (D委員) 目標値の数字に対してカッコ書きで割合 (%) を示してはどうか。
- (C委員) p.23 の「市外から市内への転入者数」と p.24 の「市内従事者が市内に常住する割合」の違いが分かりにくい。
- (事務局) 分母が異なる。
- (C委員) 一般の人が読んだら分からない。分母がことなることが理解できないのではないか。
- (事務局) 表現の仕方を検討する。算出根拠もしくは注釈を入れるようにする。
- (委員長) 検討をお願いします。続いて、基本目標 4 の説明をお願いします。
- (事務局) 柏原市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案) (資料2) 基本目標 4 についての説明
- (委員長) 意見はあるか。
- (A委員) 全体的なことであるが、5段階評価の平均値で設定しているが、中央値の方がいいのではないか。
- (事務局) アンケートの取り方になるが、これまで実施した市民意識調査では平均値で物事を考えている。
- (A委員) 国の評価もそうなのか。
- (事務局) 国は分からないが、市ではこれまで平均値を採用している。
- (A委員) われわれの業界では、分布尺度は中央値で考えている。
- (事務局) 目標値は、平均値で考えたい。分析は細かく行う。

- (委員長) 数値目標であるが、防犯と交通網の整備は、代表的なものとなるのか。
- (事務局) そうである。
- (委員長) 数値目標を積み上げれば、人口ビジョンの将来人口になるということですね。
- (A委員) 基本目標4の「特定空家等、助言件数」の目標値が10件、基本目標3の「空き家への移住・定住に伴うリフォーム補助件数」は5件となっているが、10件のうち、5件を選択するのか。
- (事務局) 特定空家とのことで、防犯、防災上の問題を解決したいと考えている。特定空家率は、対象となるものが異なる。
- (D委員) p.26の自治会の自主防災率100%で設定すると達成できるのか疑問である。自治会の会長をしているが、もめごとがおおくて大変である。
- (副委員長) 柏原市は、自治会がしっかりしている。市としては、防犯に全部入っていただきたいと考えている。
- (D委員) 達成できるのであれば問題ないと思う。
- (事務局) 何年も前から100%を目指しており、今回も100%を目指したい。
- (B委員) 基準値が小数点一桁、二桁があるので整合しておいた方がいいのではないかな。
- (事務局) 整合するように設定する。
- (D委員) 全部実施するとなると予算がかかる。柏原市は、どこに重点をおくのかが見えにくい。メリハリをつける方がいいのではないかな。
- (事務局) 実際の事業をやるとなると前年度に予算協議をすることになる。戦略はあくまでその基になるものである。この中からより有効なものを選ぶ。また、修正、追加していく考えである。
- (D委員) 大学であれば前年度の検証を行い、結果が出ていないものは、予算が0になる。すべて実施できればいいが、結果がでないものは予算が0になるのではないかな。
- (事務局) 全て行うのは難しい。また、結果がでないものをやめるのも難しい。これから精度を高めて検討していきたい。また、今後もこの会議を続けて、検証できればいいと考えている。
- (委員長) 柏原市で総合計画を立てているが、人口減少の取組をしようと考えている。総合計画の中から人口減少対策として、重点的に取組内容を記載している。盛り込んだ中の優先順位は、これから検討することになる。
- (E委員) 二週間前に大東市がブランドメッセージを提示した。「大都市よりも大東市」のゴロがいいと思っている。地域ブランド

- を確立するイメージ戦略である。大都市にはない、大東市にあるものである。何を主体にしていくのか、イメージ戦略が必要ではないか。ワインだけでなく、住んでいる人の土着性、大阪市まで20分、奈良にも近い。このようなことを打ち出せばいいのではないか。子育てか移住か、そこに地域ブランドが出せればいいのではないか。参考にしていきたい。
- (F委員) 基本目標2に戻るが、目標に対して維持はそぐわない。見る人にとっては、いい気がしない。目標は、少しでも上に設定する方がいいのではないか。
- (委員長) 目標値は計画を立てる上で、すこし夢を入れて設定してもいいのではないか。修正していただきたい。
- (事務局) 検討する。
- (委員長) それでは、人口ビジョン、総合戦略の意見を伺った。事務局の方で修正をお願いする。今後の段取りを事務局から説明をお願いする。

3. その他

- (事務局) 最終案として、沢山のご意見を伺った。数値等は担当課と調整して修正する。1月末までに修正して、公表する予定である。今後は、施策については、必要に応じて追加することも可能である。計画の進行管理は、この会議で実施していきたいと考えている。公表前の修正版を委員の方々に確認して貰いたいと考えている。1月末頃に修正版を提示する。また、意見があればお伺いしたい。日程については、改めてご連絡する。確認方法は、会議を開くのか、メールでの確認、郵送での確認を考えている。意見を伺いたい。
- (委員長) 本日、いただいた意見を踏まえて修正する。メールでチェックしていただくことでいいか。会議を開くかどうかは、検討する。事業を追加することは可能であるので、補強していきたい。
- (事務局) 1月に集まる必要があるのかどうか意見を伺いたい。
- (委員長) メールで構わない。市町を含む正式な会議は別途実施したいと考えている。事務局で修正の方をお願いする。

以上



委員会の様子